

令和7年度 県政モニターアンケート調査

テーマ：ふくおか防災ナビ・まもるくんについて

福岡県総務部防災危機管理局防災企画課

1 調査の目的

近年、災害等の激甚化・頻発化により、災害への備えといざというときの適切な行動がますます重要になっている。

このような現状から、県では気象や避難情報等が容易に入手できるスマートフォンアプリ「ふくおか防災ナビ・まもるくん」を配信している。

今回の調査では、このアプリに対する皆様の満足度や機能ニーズを把握し、今後の施策の参考とするものである。

2 調査時期

令和7年9月9日～令和7年10月5日（第3回）

3 回答者の構成

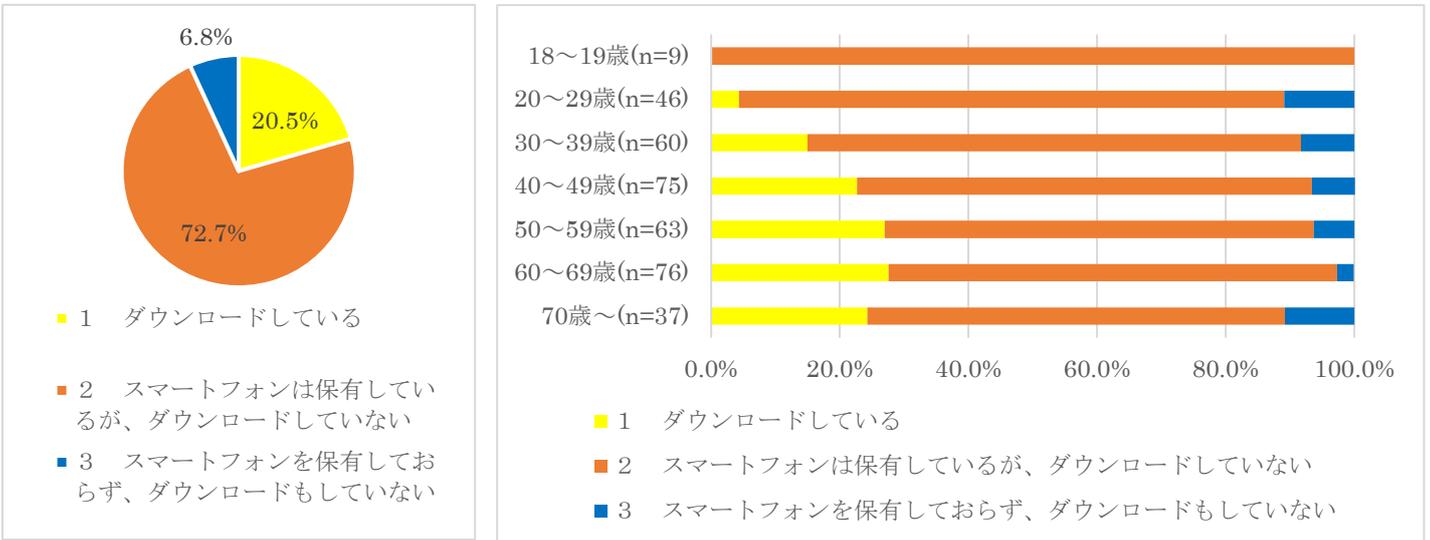
		計	北九州	福岡	筑豊	筑後
総数	-	366 (100%)	92 (25.1%)	191 (52.2%)	27 (7.4%)	56 (15.3%)
性別	女性	191 (52.2%)	49	101	12	29
	男性	172 (47.0%)	41	90	15	26
	その他	3 (0.8%)	2	0	0	1
年代別	20代以下	55 (15.0%)	13	30	3	9
	30代	60 (16.4%)	15	31	5	9
	40代	75 (20.5%)	18	39	6	12
	50代	63 (17.2%)	17	33	4	9
	60代	76 (20.8%)	21	34	8	13
	70代以上	37 (10.1%)	8	24	1	4

4 回答結果

問1 あなたは、県防災アプリ「ふくおか防災ナビ・まもるくん」をダウンロードしていますか。

【概要（回答数：366）】

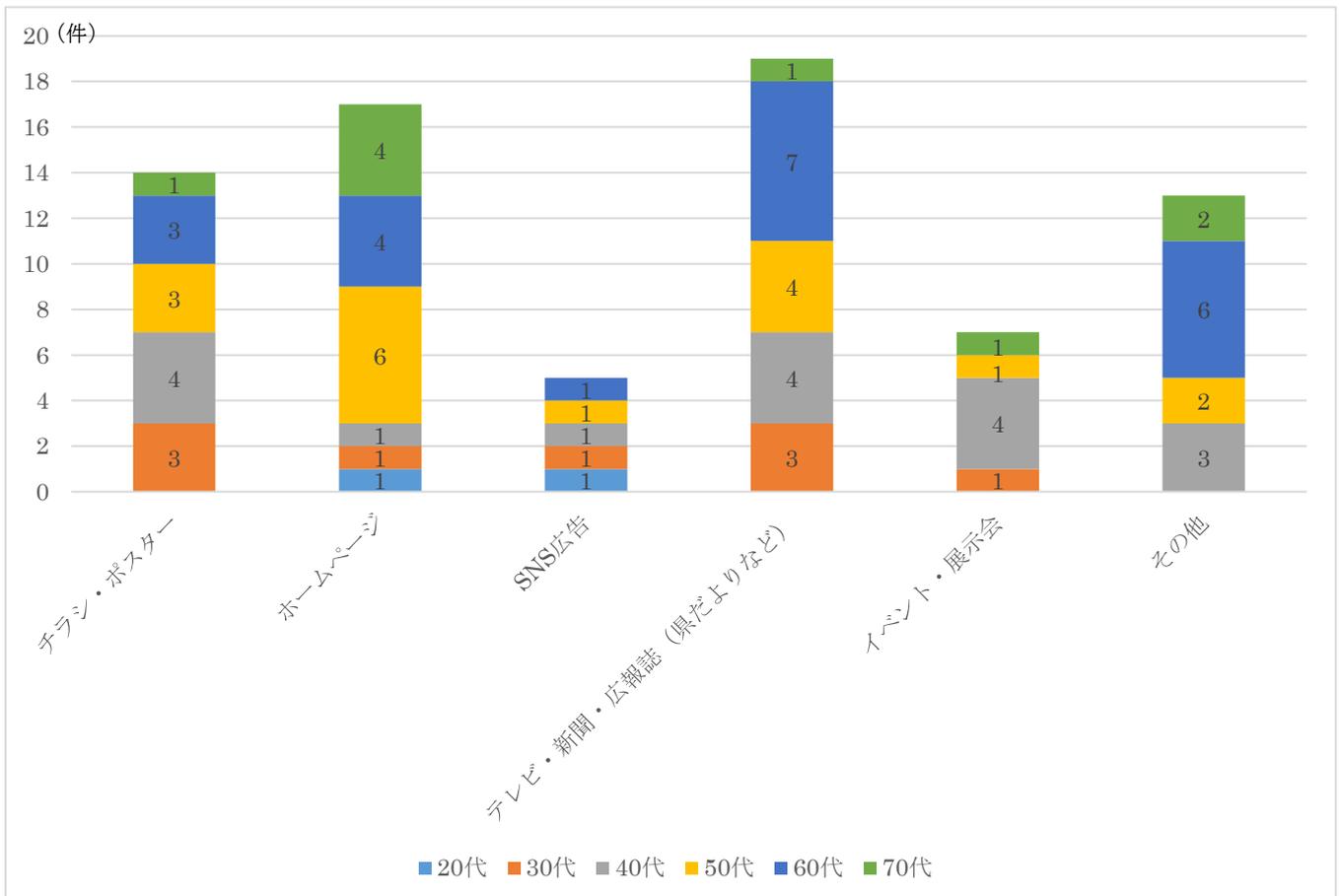
- ・ダウンロードしているのは全体の約20.5パーセント。
- ・年代別にみると、60～69歳世代の活用割合が最も高く、年齢層が高い方が活用割合が高い傾向がある。



問1-2 「ふくおか防災ナビ・まもるくん」ダウンロードのきっかけを教えてください。

【概要（回答数：75）】

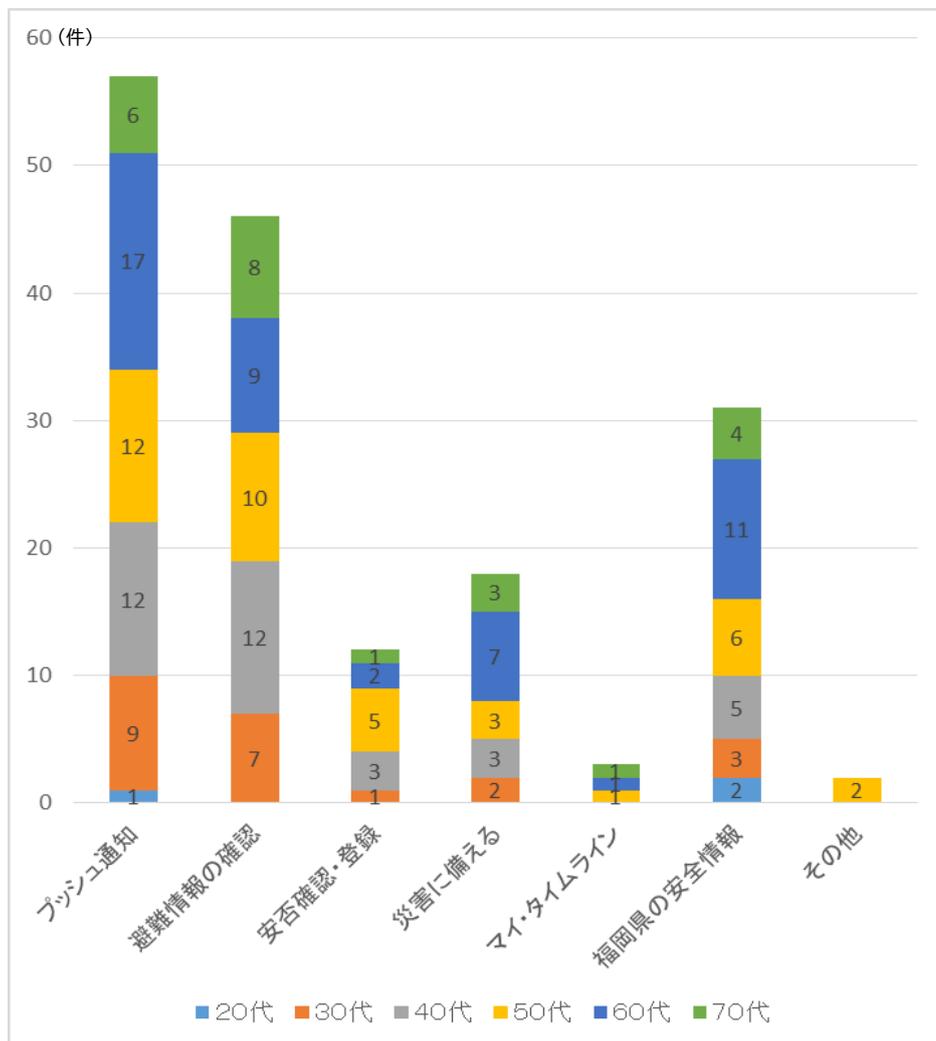
- ・50代以上の比較的高い世代層を中心に、「ホームページ」や「テレビ・新聞・広報誌」等の紙面での広報媒体を通じてダウンロードされている。



問1-3 「ふくおか防災ナビ・まもるくん」で活用したことがある機能をお答えください。(複数選択可)

【概要(回答数: 71)】

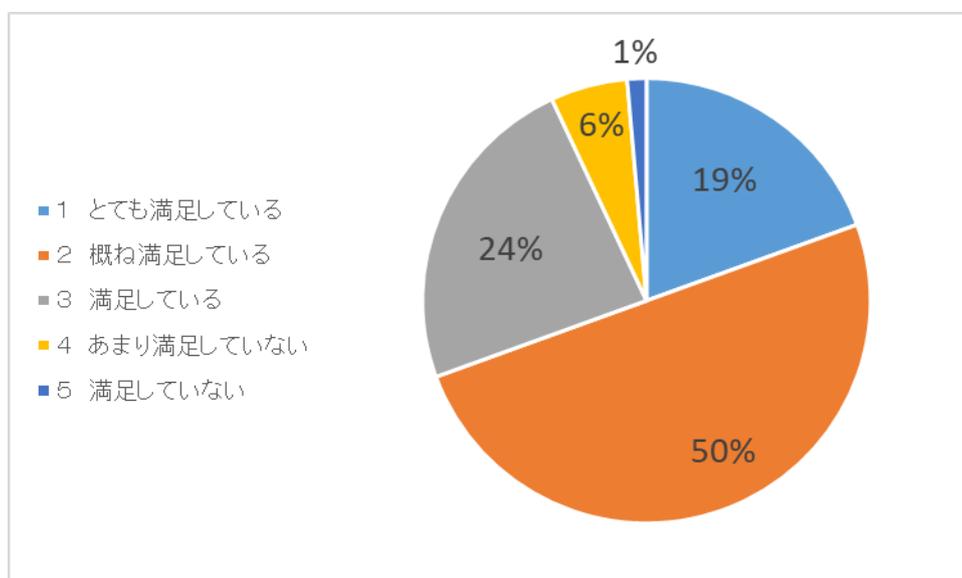
- ・「災害情報プッシュ通知」「避難情報の確認」「福岡県の安全情報」の3つの機能を中心に活用されている。
- ・「安否確認・登録」「マイタイムライン」の活用度合いは低い。



問1-4 「ふくおか防災ナビ・まもるくん」の利用満足度をお答えください。

【概要(回答数: 72)】

- ・利用者の内、約93パーセント(前回より8パーセント増)の方が「利用に満足している」と回答。



問2 昨年度、河川カメラの映像をリアルタイムで表示する機能を追加し、今後、県内の主要な活断層で想定される地震の「震度予測マップ」「液状化予測マップ」を表示する機能を「ふくおか防災ナビ・まもるくん」に追加する予定です。

その他、アプリに追加して欲しい機能があれば、その内容を具体的に記入してください。

【概要（主なものを抜粋）】

- ・リアルタイムで、地域別の現在避難している人数や割合
- ・公共交通機関（電車やバス）の運行情報や、通行の可否などの道路情報
- ・天気予報
- ・通行止めになっている場所や崖崩れが起きている場所がわかる機能
- ・冠水している道路やその付近の状況をリアルタイムで表示する機能
- ・緊急時のみ家族の居場所が一目でわかるような機能
- ・行政機関、自衛隊、消防、警察、の救援状況
- ・災害時の停電や外出先など、ネット環境が不安定なオフライン状態での利用方法についてわかりやすく知りたいです。
- ・避難先までの経路と最新の状況
- ・備蓄品の管理機能
- ・防災クイズ
- ・河川は長いのでカメラの台数を増やしてほしい。
- ・防災コラム等の有事に役立つもの。
- ・線状降水帯や台風の際に、同程度の威力で過去に起きた被害を可視化できる（あるいは想像できる）情報
- ・水没しやすい場所の動画
- ・家庭ごと（住居の形態や家族構成（人数・年齢））に合わせて事前準備品がより具体的にかつ簡単にわかる機能
- ・国道や県道の道路交通情報をタイムリーに教えて欲しい。
- ・自分の避難所となってる所が公民館になりますが、校区の皆様が避難してきた場合、本当に避難できるのか不安があるので、避難所ごとのキャパ等を記載してほしい。
- ・避難先で準備されているものや設置されている備品の情報
- ・同じアプリを使う家族の位置がGPSでわかるような機能
- ・停電や断水などライフラインの被害情報や、災害ボランティア募集情報を共有でき、多言語対応で外国人にも安心して利用できると良いです。
- ・自宅や会社、もしくは出先から避難先への経路が知りたいです。
- ・チャット機能の充実をお願いします。質問していても、的確な場所に案内してもらえなかったから。
- ・マップにコメントを追加する機能
- ・災害時の医療情報（機能している医療機関および診療科目）の提供もしくは窓口情報
- ・障害、難病がある人や家族が行ける避難所の情報を提供する機能
- ・AIによる「危険度可視化マップ」降雨量や河川水位、地震情報、避難状況などをもとに、リアルタイムで地域ごとの「危険度（リスク）」を色分け表示する機能
- ・津波のメートル毎の想定被害エリアや、避難の勧告
- ・雨雲レーダーで降雨予測してほしい
- ・障がい者用トイレの有無
- ・今までの災害の時に実際に役に立った防災グッズを教えて欲しい。
- ・以前は「まもるくん」をダウンロードして使用していましたが、情報量が多すぎて私には使いづらく感じました。そのため、項目数はそれほど多くなくてもよいと考えています。
- ・河川氾濫予測機能（この川が氾濫したらどこまでどのくらいの水が来るか）
- ・断水時の供給場所
- ・お年寄りができるようにテレビと電話にもつながって知らせる機能

問3 ふくおか防災ナビ・まもるくんについて、これまでの設問以外に意見はありますか。
ある場合は、その内容を具体的にしてください。

【概要（主なものを抜粋）】

- ・一応アプリはダウンロードしているが、北九州市の防災情報LINEを専ら活用しており、福岡県の方はあまり活用の機会がない。
- ・もっと広めて県民が周知するようにしてほしい。
- ・ホーム部分の設定した地域ごとの情報で、共通の部分はいちいち記載せずにまとめて書いてくれてもいいと思います。「災害に備える」の部分
- ・より詳細な、正確な情報を知りたい。こまめに更新されるとありがたい。
- ・防災に関係したものでスマートフォンに入っているアプリは、「ふくおか防災ナビ・まもるくん」、「ウェザーニューズ」、yahooの通知、LINEの通知が入っています。一度の災害の時に、それらからそれぞれ通知が来るので、かなりの数の通知が来ることとなります。なので、2つ位のアプリに絞ろうかと思っています。具体的な案ではなく申し訳ないのですが、私個人は上記のような状況なので、まもるくんが何かの特化してもらえると、使いやすいのかなと思いました。
- ・せっかくの防災アプリは、最近になって知った。もっと外におけるキャンペーン等を行い、告知強化に努めてもらいたい。博多駅、天神駅、小倉駅、久留米駅等
- ・多言語対応の強化です。外国人住民や観光客にとって、災害時の正確な情報は命に関わります。英語、中国語、韓国語など主要言語での情報提供が進めば、誰一人取り残さない防災につながると思います。
- ・災害ボランティア募集情報の共有機能です。発災後、復旧段階で「どこで人手を必要としているのか」が分かれば、県民が参加しやすくなります。ボランティア活動と被災者のニーズを結ぶプラットフォームとしても活用できるのではないのでしょうか。
- ・被災した際の役所での手続き、必要な準備などにすぐアクセスできると、事前から参考になり心強いです。
- ・避難場所の食料や寝れる人数など細かくしりたい。
- ・スマホの画面が小さいので地図を見るときは難儀する。
- ・河川カメラの表示を試みたが、河川カメラが地図上にどこにあるかわからなかった。
- ・災害に備えるための事前準備が必要なことは頭では分かっていますが、日ごろの生活に追われてなかなか行動に移すまでには至っていません。そのため、家族と一緒に準備をしに行くきっかけがあればとても助かります。例えば、イベントを駅やお店で行ったり、お店と一緒に探してくれたり、ミニ講義(日用品での代用・年齢ごとに必要なものの紹介等)があると、休日に楽しみがてら出かけて準備できるきっかけになるのではと思いました。
- ・老人向け画面、子供向け画面、など対象者別に分けられると良い。
- ・アプリを統合もしくはリンクしていけば活用度の高いものにできるのではないか。
- ・ふくおか防災ナビ・まもるくんについて知りませんでした。機能の充実と併せて、周知にも力を入れることを要望します。
- ・アプリではなくweb状が良い。アプリのダウンロードに躊躇するため。
- ・どんなに優れたアプリでも普及しなければ意味がありません。
- ・アプリ機能もすばらしく、このアンケートが終わってからすぐ入れてみようと思いました。
- ・現状の意見をリアルタイムで行政に届ける、やり取りが出来る機能
- ・初めて知りましたが、アプリの内容が必要な情報が既に情報がしっかり入っていると感じた。
- ・災害や不安に思うこと、疑問等に答えてくれるところがあれば助かります。
- ・NHKの防災アプリなどもあり、どれを使ったらよいのか迷ってしまう。